

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	名駅三丁目エリアマネジメント
まちづくり 活 動 名	自分の好きをまちづくりに
活 動 地 域	中村区名駅三丁目エリア
活 動 の 背 景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） リニア中央新幹線開業を見据えた開発が進み、隣接する地区（那古野・花車・名駅四丁目など）でまちづくり協議会が活動する中、名駅三丁目だけがエリアマネジメント組織を持たない「空白地帯」となっていることが本会設立の強いきっかけ。 本エリアはオフィスや飲食店が密集しているが、事業者同士の横のつながりが希薄であり、ゴミ問題等に対して街を一体的に管理する仕組みがなく、今後、再開発が進む中で「この街にどんな機能や空間が必要か」を地域主体で考え、将来的に街の全体管理（環境美化、情報発信、滞在空間・サービス提供等）を担える組織の存在が必要と考えたため。
目的・目標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください） ■目的 名駅三丁目を単なる「通り過ぎるまち」から「誰もが心地よく滞在できる街」へ育てること。 再開発が進む中で、古くからの地域住民や新しく参入する事業者が協力し合える関係を作り、地域のリアルな課題（ゴミ問題や客引きなど）に向き合いながら街の将来像を共に描く仕組みづくり。 ■目標 定期的な清掃活動や勉強会といった「日常的な取り組み」と、地域の空間を活用した「ミニイベント」を両輪で行い、これまで希薄だった事業者・地域間の「横のつながり」を創出する。 日々の活動を通じて、将来に向けて「街にどんな機能や空間があると良いか」を現場の視点で検証する。 ■成果 活動を通じて、地元住民や来街者、店舗スタッフの「生の声」を拾い上げるネットワークが形成されること。現場のリアルな意見を集約し、将来のエリアマネジメント（環境美化やルール作り）の土台となる「顔の見える関係性」を築く。

活 動 内 容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) スタートアップの初年度として、以下の「日常的なつながりづくり」に注力して活動を行う。 ①日常的な環境美化と対話(清掃活動)： 定期的なゴミ拾いを起点に、参加する住民や事業者同士で地域課題(ポイ捨ての実態など)を共有し、交流を図ります。 ②地域のつながりづくり(お寺ストレッチ・勉強会)： 地域の資源(お寺など)を活用した健康プログラムや、まちづくり勉強会を開催し、住民やワーカーが気軽に集まれるコミュニティを形成します。 ③滞留空間の創出(ミニイベント)： 名駅三丁目の公開空地(候補地：UR保有地)を活用したマルシェを実施し、街に不足している「居心地の良い空間」のあり方を検証します。 ※本助成金(上限5万円)の活用については、これらの活動にあたり、参加を呼びかけるための「広報ツール(チラシ等)の作成費」、清掃活動に必要な「活動用具費」、勉強会等の「会場・機材費」として活用し、初年度の活動基盤を固める。	
活 動 予 定 期	2026年6月～2027年2月	
助 成 金 交 付 申 請 額	50,000 円	※1回目(上限5万円) ※2回目、3回目(上限10万円)

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 隣接する地区でまちづくり組織が稼働する中、名駅三丁目は飲食店が密集し「ゴミ問題」や「客引き」といったリアルな課題を抱えながらも、街を一体管理する組織がない「エリマネ空白地帯」となっている。 再開発によって街の環境が激変する前に、地域住民や店舗スタッフが顔を合わせ、自らの街の課題に向き合う受け皿となる組織を今すぐ立ち上げることは、安心・安全な地域環境を守る上で必要不可欠と考える。	
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 本計画は、大規模で予算のかかる実証実験ではなく、「ゴミ拾い」や「お寺ストレッチ」といった、身近で確実に行える「日常的な取り組み」を主軸としている。 すでに会長をはじめとするメンバーには、これらを企画・運営するノウハウと熱意があり、助成金(上限5万円)をチラシ作成や用具購入といった初期費用に充てることで、無理なく着実に活動をスタートさせ、継続できる高い実現性を備えている。	
審査基準③ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか

(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)

初年度に「清掃」や「お寺ストレッチ」を通じた小さな顔の見える関係づくりを進めることで土台となり、次年度以降はより多くの飲食店や民間事業者を巻き込んだネットワークへと成長が望める。

集められた「現場の生の声」をベースに、将来は本会が「街の全体管理(ルールの策定や空間の活用)」を担う本格的なエリアマネジメント組織へと発展し、隣接する協議会とも連携した広域的なまちづくりに貢献したい。

- 3 活動にあたり他団体(町内会、自治会他)、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
(地元寺院) 称名寺・西祐寺	お寺ストレッチの会場協力依頼(26年3月15日)
(公開空地や低未利用地の地権者) UR都市機構・三菱倉庫・他	公開空地の活用、賑わい創出

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2026	4		
	5		
	6	定例 mtg 西祐寺「寺スト」 ミニイベント	来街者とのコミュニティ「お寺でストレッチ」 （チラシ印刷） 活動周知、団体周知のマルシェ（チラシ印刷）
	7	定例 mtg 称名寺「寺スト」 清掃活動	来街者とのコミュニティ「お寺でストレッチ」 （チラシ印刷） 活動周知、団体周知のための清掃
	8	定例 mtg 西祐寺「寺スト」 清掃活動	来街者とのコミュニティ「お寺でストレッチ」 （以降の寺ストレッチを集約してチラシ印刷） 活動周知、団体周知のための清掃
	9	定例 mtg 称名寺「寺スト」 清掃活動	来街者とのコミュニティ「お寺でストレッチ」 活動周知、協賛金獲得に向けた広報活動のための清掃
	10	定例 mtg 西祐寺「寺スト」 清掃活動 勉強会	来街者とのコミュニティ「お寺でストレッチ」 活動周知、協賛金獲得に向けた広報活動のための清掃 エリアマネジメント組織についての勉強会
	11	定例 mtg 称名寺「寺スト」 清掃活動	来街者とのコミュニティ「お寺でストレッチ」 活動周知、協賛金獲得に向けた広報活動のための清掃
	12	定例 mtg 西祐寺「寺スト」 清掃活動	来街者とのコミュニティ「お寺でストレッチ」 活動周知、協賛金獲得に向けた広報活動のための清掃
2027	1	定例 mtg 清掃活動	活動周知、協賛金獲得に向けた広報活動のための清掃
	2	定例 mtg 清掃活動	活動周知、協賛金獲得に向けた広報活動のための清掃
	3		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000 円
活動 経費 の内 訳	印刷製本費	広報活動	各種活動の参加呼びかけ用チラシ印刷 代 合計 2000 部	20,000 円
	消耗品	清掃活動	清掃用具（軍手、ゴミ袋、箒、等）	10,000 円
		ミニイベント	消耗品等備品 ・アルコール消毒液 ・ダスター ・キッチンペーパー ・クーラーボックス	5,000 円
	使用料及び 賃借料	勉強会	会場費（3,300 円/1h ×4h）	13,200 円
		ミニイベント （マルシェ）	備品レンタル ・テーブル ・イス ・テント ・テントウェイト ・PR ボード	24,000 円
支出合計				72,200 円

※1 ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

